

令和2年7月15日  
第2回埼玉支部評議会

# 第2期埼玉支部データヘルス計画の実施状況について (計画年度 平成30年度～令和5年度)

# 第2期データヘルス計画(概要)

実施期間 平成30年度～令和5年度

|      |  |
|------|--|
| 健康課題 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・健診受診率が他支部と比較して極めて低い。</li> <li>・入院外の医療費で高血圧性疾患と糖尿病が上位1・2位であり、その比率が全国を上回っている。</li> <li>・虚血性心疾患による死亡率が全国と比較して高い。</li> <li>・加入事業所数が多いため、事業所と連携した健康づくりが必要。</li> </ul> |
|------|--|

|  |  |
|--|--|
| <b>上位目標</b><br>【重大な疾患の発症を防ぐ】<br>(10年以上経過後に達する目標) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・加入者に占める人工透析患者数を0.1%以下にする。(平成28年度)0.115%⇒0.1%<br/>           (参考:人数ベース)【平成28年度】加入者数1,274,547人<br/>           0.115%→透析患者数1,469人、0.1%→透析患者数1,275人 (▲194人)</li> </ul> |
|--|--|

|  |  |
|--|--|
| <b>中位目標</b><br>【検査値等が改善する】<br>(6年後に達成する目標) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・健診受診者における血圧・血糖の受療勧奨対象者の割合について、平成28年度数値を1割減らす。<br/>           (健診受診者に対する一次勧奨対象者数の割合)4.1%⇒3.7%</li> <li>・入院医療費に占める虚血性心疾患にかかる医療費の割合を、そのシェアが大きくなる50歳以上層において、平成28年度数値を1割減らす。<br/>           50-59歳6.4%⇒5.8% 60-69歳6.5%⇒5.9% 70歳以上8.1%⇒7.3%</li> </ul> |
|--|--|

| 下位目標 |                       | 健診受診率の向上 |                   | 下位目標 |                                  | 特定保健指導実施率の向上 |                                      | 下位目標 |  | 糖尿病・高血圧等の重症化予防の推進 |  | 下位目標 |  | 健康経営(コラボヘルス)の推進 |  |
|------|-----------------------|----------|-------------------|------|----------------------------------|--------------|--------------------------------------|------|--|-------------------|--|------|--|-----------------|--|
| 1    | 事業者健診データ取得率を22%にする。   | 4        | 特定保健指導実施率を35%にする。 | 5    | 受療勧奨対象者の受療勧奨後3か月以内の受療率を20%にする。   | 8            | 健康宣言企業を1,000社とする。                    |      |  |                   |  |      |  |                 |  |
| 2    | 特定健診受診率(被扶養者)を43%にする。 |          |                   | 6    | 糖尿病性腎症重症化予防プログラム参加者を人工透析に移行させない。 | 9            | 30分以上の運動習慣がある人を平成27年度数値から10%ポイント増やす。 |      |  |                   |  |      |  |                 |  |
| 3    | 生活習慣病予防健診受診率を50%にする。  |          |                   | 7    | 喫煙率を平成27年度数値から2割減らす。             | 10           | 入院外歯科医療費を平成28年度数値から1割減らす。            |      |  |                   |  |      |  |                 |  |

# 下位目標実施状況

| 事業名  | 下位目標<br>(アウトカム<br>評価)<br>※2023年度       | 概要   | 具体策の主な実施状況  | 実施件数   | アウトカム<br>※令和2年5月<br>末現在   | 実施予定の施策   |
|--|--|--|---|--|---|---|
| 特定健診<br>受診率・<br>事業者健<br>診データ<br>取得率の<br>向上 | 生活習慣病予<br>防健診受診率<br>を50%にする。<br>(被保険者) | 生活習慣病予防健診実施<br>契約機関数の拡大や健診<br>推進費の活用。<br>新規加入事業所への文書<br>架電による受診勧奨強化。   | ・埼玉県が実施する、「埼玉県職域におけるがん検診<br>受診促進事業補助金事業」を活用した受診勧奨の実施<br>(がんインセンティブ事業)。<br>・新規加入事業所を対象とした、電話による受診勧奨<br>の実施予定。  | ・3月に生活習慣病予防健診対象事業所84,784社に<br>案内を送付。がんインセンティブ事業に関する案内<br>も同封。(6月末現在85事業所より受付)<br>・4月及び5月は健診を休止としたため、勧奨も休止。             | 生活習慣病予防<br>健診受診件数<br>4,859件(前年同期<br>8,697件) 受診率<br>0.8%                                   | ・7月から文書及び電<br>話による受診勧奨実<br>施予定。                         |
|  | 事業者健診<br>データ取得率<br>を22%にする。            | 事業所規模に応じた勧奨<br>や自治体・関係団体等と<br>連携した同意書提出勧奨<br>の実施。<br>データ提供契約が未締結<br>の健診機関に対する契約<br>勧奨や同意書提出済事業<br>所に対するフォローの実<br>施。<br>健診推進費を活用した<br>データの早期提供の促進。            | ・事業所を小規模(被保険者3人以上)、中規模(被保<br>険者6人以上)、大規模(被保険者50人以上)に分類し、そ<br>れぞれ対して規模に応じて文書・電話・訪問によりデー<br>タ提供の勧奨を実施。<br>・同意書提出済事業所に対するフォローを実施。<br>・健診推進費を活用した健診結果データ早期提供の推<br>進。                | ・提供勧奨は休止。7月以降に実施予定。  | 事業者健診デー<br>タ取得件数6,310件<br>(前年同期3,931件)<br>取得率1.1%   | ・関係団体と連携した<br>同意書提出勧奨の実<br>施予定。                         |
|  | 特定健診受診<br>率を43%にす<br>る。(被扶養<br>者)      | 市町村のがん検診と合同<br>による集団健診の実施。<br>文書による受診勧奨の実<br>施。  | ・和光市の女性特有のがん検診と、協会けんぽ被扶養<br>者(女性)向け集団検診の同時実施を継続して計画。<br>・がん検診と協会けんぽの被扶養者向け集団健診の<br>同時実施についてのアンケートを実施。   | ・和光市での合同健診を8月に予定。<br>・協会加入者の特定健診と自治体でのがん検診の<br>同時受診が可能な集団健診実施のため打合せを<br>予定。  | 特定健診受診件数<br>83件(前年同期<br>1,199件)<br>受診率0.1%  | ・県内全域での集団健<br>診(令和3年1月～3月)。<br>・市町村のがん検診と<br>集団健診の同時実施。 |
| 特定保健<br>指導の実<br>施率の向<br>上                  | 特定保健指導<br>実施率を35%<br>にする               | 【被保険者】<br>・支部保健師の確保。<br>・保健指導のスキルアップ。<br>・医療機関との契約拡大。<br>・保健指導専門機関の管<br>理徹底。<br>【被扶養者】<br>・集団健診当日の初回面<br>談。<br>・国保との合同健診及び<br>保健指導。<br>・付加価値を付けた保健<br>指導の実施。 | 【被保険者】<br>・スキルアップを目的に支部内研修会や指導者ミーテ<br>ィングの実施・契約医療機関に実施件数のフィードバック<br>実施。<br>・専門業者への外部委託実施。<br><br>【被扶養者】<br>・市町村や健康づくり推進の協定を締結している関係<br>団体等と連携した特定保健指導を実施する。<br>・支部窓口での特定保健指導実施。 | 【被保険者】2月より支部保険指導者による対面の<br>面談による特定保健指導を休止。<br>外部専門業者によるICTを用いた指導実施を促進<br>するため6月より契約、7月より稼働予定。<br>【被扶養者】集団健診当日の面談実施を計画。 | 【被保険者】<br>特定保健指導実施<br>件数814件(前年同<br>期829件)<br><br>【被扶養者】<br>特定保健指導実施<br>件数8件(前年同期<br>27件) | ・新型コロナウイルス<br>感染拡大防止を図りな<br>がら指導実施を推進し<br>ていく。          |

| 事業名                                 | 下位目標<br>(アウトカム<br>評価)<br>※2023年度                           | 概要  | 具体策の主な実施状況  | 実施件数   | アウトカム<br>※令和2年5月末<br>現在 | 実施予定の施策                |
|-------------------------------------|--|---|---|--|-------------------------|------------------------|
| 糖尿病・<br>高血圧等<br>の重症化<br>予防対策<br>の推進 | 糖尿病性腎症<br>重症化予防プ<br>ログラム参加者<br>を人工透析に<br>移行させない。           | 糖尿病性腎症Ⅱ期～<br>Ⅳ期で治療中の者に、<br>埼玉県糖尿病性腎<br>症重症化予防プロ<br>グラムに沿った生活指<br>導を実施。  | ・健診結果およびレセプトデータからCKD分類Ⅱ期～Ⅳ期で治療<br>中の方に対し、重症化予防プログラム参加勧奨を行い、参加同意<br>をいただいた方に、外部委託による生活指導を実施。(自薦方式)<br>・かかりつけ医から生活指導対象者の推薦をしてもらい、対象者<br>に重症化予防プログラム参加勧奨を行う。参加同意をいただいた<br>方に、外部委託による生活指導を実施。(他薦方式) | ・埼玉県と協調し、実施スケジュール<br>を調整。7月より勧奨を開始。                                |                         | ・かかりつけ医訪問による連<br>携強化。  |
|                                     | 受療勧奨対象<br>者の受療勧奨<br>後3か月以内<br>の受療率を20%<br>にする。             | 糖尿病や高血圧の高<br>リスク者で未治療者等<br>に対して支部において<br>文書による受診勧奨<br>を実施。  | ・高リスク者に対して文書による二次勧奨を実施。あわせて電話<br>にて受診を勧奨。<br>・糖尿病治療中断者への文書による受診勧奨実施。  | ・4月から6月まで文書勧奨及び電話<br>勧奨を休止。7月より開始予定。<br>・中断者への勧奨についても7月より<br>開始予定。 |                         | ・取組みの継続。               |
|                                     | 喫煙率を平成<br>27年度数値か<br>ら2割減らす。                               | 禁煙認定制度等を活<br>用して喫煙者に対して<br>禁煙勧奨を実施。<br>受動喫煙の体への影<br>響等を周知。  | ・健康宣言事業所を中心に禁煙チャレンジ制度の周知広報を継<br>続実施。  | ・禁煙チャレンジ制度申込54人。   |                         | ・禁煙チャレンジ制度の周知<br>強化    |
| 健康経営<br>(コラボ<br>ヘルス)の<br>推進         | 健康優良企業<br>認定数を1,000<br>社とする。                               | 健康宣言のサポートメ<br>ニューの充実と周知。<br>健康宣言企業および<br>健康優良企業の拡大。<br>健康埼玉推進協議会<br>の取組み、及び協力<br>事業所との連携強化<br>し、健康経営の普及促<br>進を図る。 |   |  |                         |                        |
|                                     | 入院外歯科医<br>療費を平成28<br>年度数値から1<br>割減らす。                      | 歯科医師会と連携して<br>企業における歯科検<br>診を実施。<br>歯科に関する分析を<br>行い、分析結果を発<br>信。  | ・集団健診実施の際に歯科健診を計画。  |  |                         | ・集団健診の実施時期、方法<br>等の検討。 |
|                                     | 1日30分以上の<br>運動習慣があ<br>る人を平成27<br>年度数値から<br>10%ポイント増<br>やす。 | 自治体等の運動促進<br>事業との連携やス<br>ポーツイベントの周知。<br>企業に対してスモール<br>チェンジ活動を推進。  |   |  |                         |                        |